

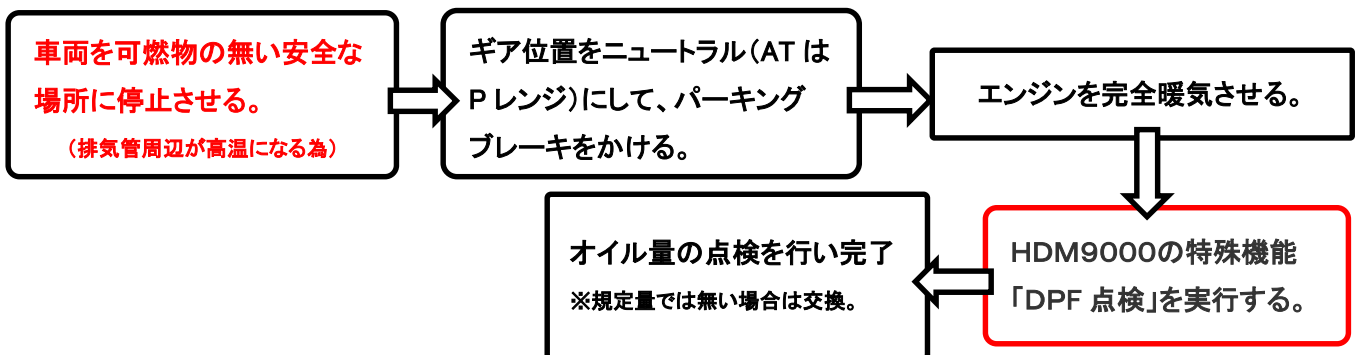
日立ダイアグノスティックツールHDM-9000操作ガイド 日野/DPR 再生(特殊機能選択時)

注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点を参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。
- 「特殊機能」による DPR 強制再生は、DPR 関連の故障コード読取・消去関連データ表示、DPR データリセットを半自動的にスキャンツールが行います。よって、自動処理の出来ない故障コード(現在発生中により記憶されており点検整備によってしか消去されないもの等)やデータリセットが検出された場合、DPR 強制再生モードが中断され強制再生が出来ません。その際は通常メニューの「診断」・「車両選択」・「エンジン」・「故障コード読取」・「作業サポート」を個別に選択して手動にて作業を行って下さい。

1. DPR 強制再生の流れ

- DPRフィルタに一定量のPMが堆積してPMを燃焼する必要がある場合、またはDPRフィルタの状態を確認する際、スキャンツールの作業サポート機能「DPR強制再生」を使用します。
- 下記の流れで「DPR強制再生」を実行します。



2. HDM9000操作手順(作業要領含む)

【手順001/車両側の準備】

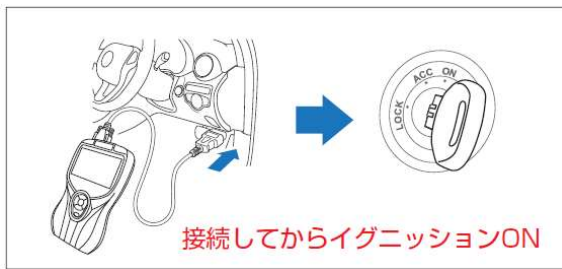
下記を行ってください。

- ① **周囲に可燃物が無く、換気が十分に行える安全な場所に車両を停止させてください。**(DPR強制再生中は排気管周りが高温になる為、特に排気管回りに可燃物が無いか、ご注意ください)
- ② シフトレバーがニュートラルであることを確認してください。(AT車はPレンジ)
- ③ パーキングブレーキをかけてください。
- ④ エンジンをアイドル状態にしてください。尚、アイドルコントロールノブによってエンジン回転数が上がっている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げてください。
- ⑤ アイドリングストップ装着車はアイドルストップスイッチをOFF(解除)してください。
- ⑥ PTO装着車はPTO作動を停止させてください。

(次ページに続きます)

【手順002:HDM-9000の車両への接続と特殊機能の起動】

下図の様に HDM-9000を車両側診断コネクタに接続して下さい。HDM-9000が起動し、HDM9000メニューが表示されましたら、カーソルを「特殊機能」に合わせてENTERキーを押して下さい。



【手順003:「DPF」の起動】

「特殊機能」画面が表示されます。カーソルを「DPF」のアイコンに移動させ、ENTER キーを押します。



【手順004:「日野」⇒「DPF点検」の選択】

「DPF」画面が表示されます。カーソルを「日野」に移動させた後、続けて「DPF点検」にカーソルを移動させて ENTER キーを押して下さい。



【手順005:車両の選択】

車両の選択を行います。「車両分類」「トラック」「排ガス記号」の順番で画面が表示されますので、それぞれの画面で在庫車両に該当する項目をカーソルで選択して ENTER キーを押して下さい。最後に「車両確認」が表示されましたら ENTER キーを押して下さい。



(次ページに続きます)

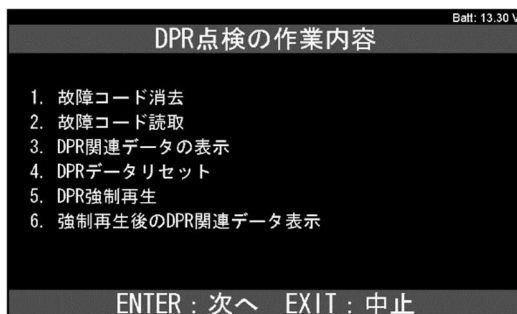
【手順006:「DPF 点検モード」の起動】

「DPR メニュー」画面が表示されます。カーソルを「DPR 点検モード」に移動させ、ENTER キーを押してください。



【手順007:作業内容の表示】

「DPR 点検の作業内容」画面が表示されます。ENTER キーを押してください。



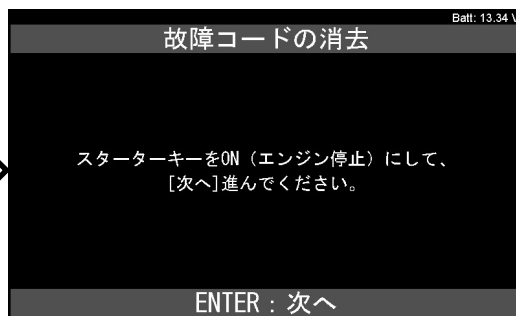
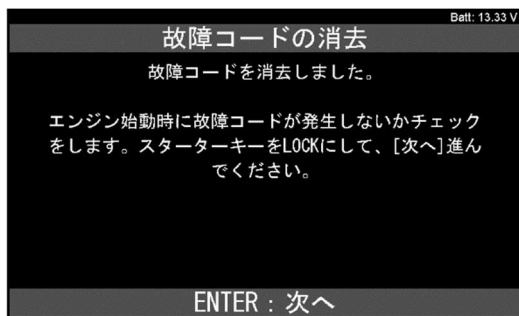
【手順008:「DPR 点検モード」の開始】

「DPR 点検モード」画面が表示されます。ENTER キーを押してください。



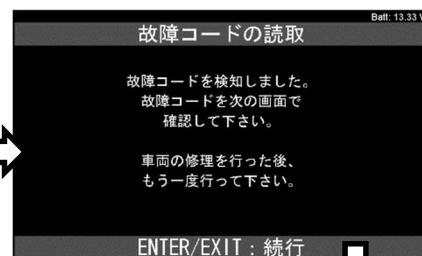
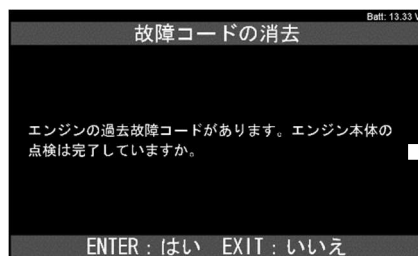
【手順009:「故障コードの消去」の実行】

「故障コード消去」画面が表示されます。画面の表示内容に沿って車両とHDM9000を操作してください。



【補足】

消去が出来ない故障コードが検知された場合、右の様な画面遷移となり「DPF 点検」が中断されます。
この場合は、ENTER キーを押して一旦「DPF 点検」を終了させ、故障コードで示される個所の点検整備を行ってください。



(次ページに続きます)

【手順010:「DPR 状態表示」の確認】

「DPR 状態表示」画面が表示されます。内容を確認後、ENTER キーを押してください。
※上下キーで画面をスクロールさせて、次画面の項目の確認も行ってください。

DPR状態表示		Batt: 13.27 V
差圧検出DPR溶損		OK
温度判定DPR溶損		OK
DPR異常加熱		OK
差圧判定目詰り		OK
目詰り危険レベル		OK
目詰り警告レベル		OK
触媒劣化		OK
触媒劣化仮判定フラグ		OK

終了

【手順011:「DPR 状態リセット」の実行】

「DPR 状態リセット」画面が表示されます。表示内容に沿って車両とHDM9000を操作してください。

DPR状態リセット

Batt: 13.27 V

DPR関連データをリセットします。

DPR点検および洗浄後に実施してください。

リセットを実行しますか？

ENTER : はい EXIT : いいえ

➡

DPR状態リセット

Batt: 13.31 V

DPR状態リセットが完了しました。

スターターキーをLOCKにしてから[次へ]を入力してください。

10秒間放置で登録が完了します。

ENTER : 次へ EXIT : 中止

➡

DPR状態リセット

Batt: 13.31 V

「確認！」

エンジン停止、

ギア位置がニュートラル、

スターターキーON。

ENTER : 次へ

【手順012:「DPR 強制再生」の実行】

「DPR 強制再生」画面が表示されます。各画面の表示内容を確認し、ENTER キーを押してください。

DPR強制再生

Batt: 13.30 V

「注意事項」

- 本機能を続けて何度も実行しないで下さい。
- ギヤをN位置、PTOをOFFにし、パーキングブレーキを確実に引いた状態で、安全な場所に停車して下さい。
- 排気管周りに燃えやすい物を置かないで下さい。
- アイドリング状態にし、エンジンを十分に暖気してから実施して下さい。

ENTER : 次へ EXIT : 中止

➡

DPR強制再生

Batt: 13.29 V

** 重要!! **

この機能は車両の状態によって火災や触媒にダメージを与える可能性があります。

整備書を確認して内容を十分に理解した上、自己責任で行って下さい

ENTER : 同意する EXIT : 同意しない

【手順013:車両側の DPF 再生スイッチ押下】

「DPR 強制再生を実行します」と表示されましたら周囲の安全を確認してから車両側の DPF 再生スイッチを押して ENTER キーを押してください。

DPR強制再生

Batt: 13.31 V

DPR強制再生を実行します。

周囲の安全を確認してから「再生SW」を押してください。

完了まで15分から30分かかります。

ENTER : 実行 EXIT : 中止

【手順014:「DPR 強制再生」の実行】

データモニタ画面に表示が切り替わり DPR 強制再生が実行されます。15~30分経過した後に「正常終了」しましたと表示されるので、アイドル状態になったことを確認したら ENTER キーを押してください。

DPR強制再生

Batt: 13.32 V

エンジン回転数	652 rpm
差圧	1.58 kPa
DPR排気温 (IN)	95 °C
DPR排気温 (OUT)	127 °C
燃料噴射量	53.98 mm3/r+
SCR触媒排気温度 (DCU受信)	106.2 °C
エンジン冷却水温	50 °C

完了

➡

DPR強制再生

Batt: 13.31 V

正常終了しました。

アイドル状態になるまでお待ちください。

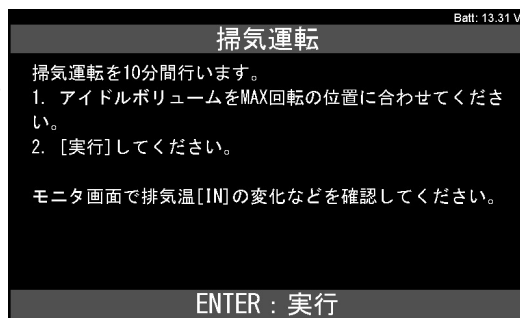
ENTER : 次へ

(次ページに続きます)

【手順015:「掃気運転」の実行】

「掃気運転」画面が表示されます。以下手順で実行してください。

- ① 今現在のアイドル回転数をメモしてください。
- ② 車両側のアイドルボリュームを MAX 回転の位置に合わせてください。
- ③ ENTER キーを押してください。



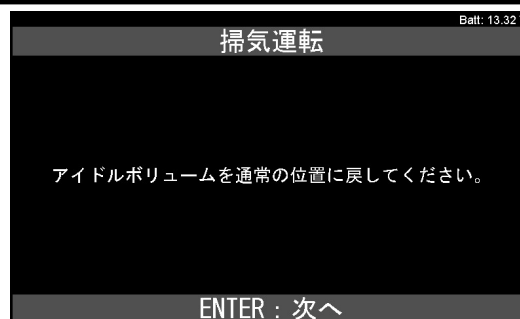
【手順016:「掃気運転」の開始】

「掃気運転」が約10分間、実行されます。



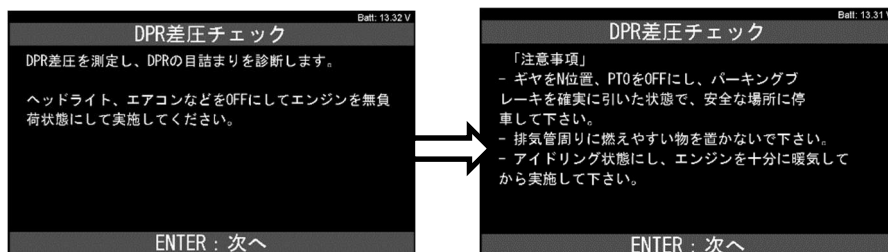
【手順017:「掃気運転」の終了】

「掃気運転」が終了すると右図が表示されます。車両側のアイドルボリュームで【手順015】の①で控えたアイドル回転数に調整して、最後にENTER キーを押してください。



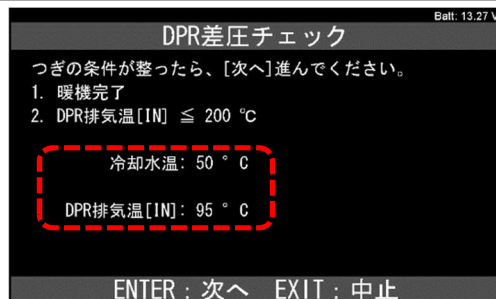
【手順018:「DPR 差圧チェック」の事前確認】

「DPR 差圧チェック」画面が表示されます。各画面の注意事項を確認し、ENTER キーを押してください。



【手順019:現在の車両状態の確認】

実行条件の画面が表示されます。右図の赤枠の値(今現在の値を表示)が画面上の条件に合っているか確認してからENTER キーを押してください。



【手順020:確認要領の表示】

DPR 差圧の確認要領が表示されます。確認後、ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順021:「DPR 差圧チェック」の実行】

エンジン回転数と差圧が表示され、エンジン回転数が上昇します。

差圧の値が安定したら最大値を記録して、ENTER キーを押してください。



【手順022:「DPR 差圧チェック」の停止】

DPR 差圧チェックが終了します。【手順020】で記録した差圧の値と整備解説書の値を照会し、その後の処置の判断を行ってください。

照会后、ENTER キーを押してください。



【手順023:「DPR 状態表示」の確認】

「DPR 状態表示」画面が表示されます。表示内容を確認し、ENTER キーを押してください。

※上下キーで画面をスクロールさせて、次画面の項目の確認も行ってください。



【手順024:「DPR 点検モード」の終了】

- ① 「全ての作業が完了しました」が表示されましたら ENTER キーを押してください。
- ② 車両側診断コネクタから HDM9000 を取り外してください。



【手順025/エンジンオイルのチェック】

エンジンオイルを点検し、規定量では無い場合、交換を行ってください。(完了)